

令和9年度 学 生 募 集 要 項

— 音 楽 学 部 —
[一 般 選 抜]
[社 会 人 選 抜]
[私費外国人留学生選抜]

□障がい有する者等の配慮の申請期限
令和9年1月14日（木）

□出願期間
令和9年1月25日（月）～2月3日（水）
※2月3日（水）郵送発信局消印有効

□試験日程
（前期日程試験）
一般選抜
音楽表現専攻・音楽文化専攻・琉球芸能専攻：令和9年2月25日（木）～26日（金）

社会人選抜
音楽文化専攻：令和9年2月27日（土）
琉球芸能専攻：令和9年2月25日（木）～26日（金）

私費外国人留学生選抜
音楽表現専攻・音楽文化専攻・琉球芸能専攻：令和9年2月25日（木）～26日（金）

□集合時刻・場所
集合時刻・試験会場等の詳細については、各専攻・コースの試験日前日の午後3時に
管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び
本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載するので必ず確認すること。

□合格者の発表
（前期日程試験）
令和9年3月5日（金）午前10時 ※本学ウェブサイト掲載（合格通知書の発送）

□入学手続期間
令和9年3月8日（月）～3月15日（月）
※3月15日（月）午後5時までに必着

令和8年6月



沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
電話 (098)882-5080
<https://www.okigei.ac.jp>

令和9年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項 目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員	4
第3	一般選抜	4
1	出願資格	4
2	選抜方法等	5
3	教科・科目に係る個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）の試験科目と日程	8
4	出願手続	10
5	受験票	13
6	受験上の注意	13
7	不正行為	13
8	入学志願者状況案内	14
9	合格者の発表	14
10	入学手続	14
11	入試成績の情報提供	15
第4	学校推薦型選抜	15
第5	総合型選抜	15
第6	社会人選抜	15
1	出願資格	15
2	選抜方法等	16
3	出願手続	17
4	受験票	19
5	受験上の注意	19
6	不正行為	20
7	入学志願者状況案内	20
8	合格者の発表	20
9	入学手続	20
10	その他	21
第7	私費外国人留学生選抜	22
1	出願資格	22
2	選抜方法等	22
3	個別テスト等の試験科目と日程	22
4	出願手続	22
5	受験票	24
6	受験上の注意	25
7	不正行為	25
8	入学志願者状況案内	25
9	合格者の発表	25
10	入学手続	25
11	その他	26
◎	大学案内	27
◎	沖縄県立芸術大学の概要	28
◎	学生生活	29
◎	一般選抜出願用書類	
○	社会人選抜志願理由書	
○	出願書類等一覧表	

令和9年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部 学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

1 沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人物像

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と教科・科目に係る個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。

- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。

- ・総合型選抜においては、実技検査、小論文、プレゼンテーション、面接等を実施します。

- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別テスト等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自立的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探究し、解決する能力を身につけている。

2 音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人物像】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。

なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語（英語はリスニングテストを含む。）及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別テスト等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査及び面接を課し、大学での学習に必要な知識・技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
- 3 総合型選抜では、専攻別に設定する専攻試験、プレゼンテーション及び面接を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を測るとともに、本人の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定します。また、多面的・総合的な評価を行うため、面接等において、調査書及び志願者本人が記載する書類等を活用します。
- 4 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 学生の多様な資質・能力を伸長するための少人数による教育
- 2 専門教育（主要科目）における、4年間にわたる段階的履修
- 3 各専門分野における基本的知識・技能を培うための、必修科目を中心とした体系的・横断的な科目編成
- 4 自然や地域、言語、芸術諸分野及び一般教養など幅広い教養を通して、汎用的基礎能力を身に付けるための全学教育科目の編成
- 5 学生の多様な関心や課題発見を促し自律的に学習できる選択科目の提供

6 様々な学びを統合し、地域・社会との連携を通して、芸術（音楽・芸能）と社会との関係を学ぶ科目の提供

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について体系的に理解している。
- 2 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について歴史、文化、社会、自然と関連付けて理解できている。
- 3 課題解決に必要な汎用的能力（論理的思考力、情報リテラシー、コミュニケーション・スキル等）を身につけている。
- 4 各分野の専門的な知識・技能と研究能力を身につけている。
- 5 卒業後も社会における自己の役割を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 6 獲得した知識や能力等を活用し、自らの課題を発見し解決する能力を身につけている。

第2 募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学科	専攻	コース	定員	募 集 人 員						
				一般選抜		学校推薦型 選抜		総合型 選抜	社会人 選抜	私 費 外国人 留学生 選抜
				前期 日程	後期 日程	県内枠	全国枠			
音楽学科	音楽表現専攻	声 楽	23	6	0	4	6	7	0	若干名
		ピ ア ノ								
		弦 楽								
		管 打 楽								
		作 曲 理 論								
	音楽文化専攻	沖 縄 文 化	7	2	0	若干名	若干名	5	若干名	若干名
		音 楽 学								
	琉球芸能専攻	琉球古典音楽	10	2	0	1	1	6	若干名	若干名
琉球舞踊組踊										
計			40	10	0	5	7	18	若干名	若干名

注1：学校推薦型選抜、総合型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分を前期日程の募集人員に加える。

注2：学校推薦型選抜の県内枠に該当する者は以下2つの要件を満たす者とする。

①沖縄県内の高等学校等を令和9年3月までに卒業見込みの者（令和8年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校等の卒業を認められた者を含む。

②本人又は保護者が令和8年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者

注3：学校推薦型選抜の県内、全国それぞれの枠で募集人員に満たなかった場合は他方の枠に算入することがある。

注4：音楽学部音楽文化専攻の学校推薦型選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

注5：社会人選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

注6：私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

第3 一般選抜

1 出願資格

次の(1)から(8)のいずれかに該当し、かつ、本学音楽学部が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目（7ページの別表参照）を受験した者。

なお、外国人志願者は(9)を満たすこと。また、外国人志願者のうち、(3)に該当する者は(10)も満たすこと。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者（令和8年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者

- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和8年10月30日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）
- (9) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (10) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上）

2 選抜方法等

(1) 選抜方法

音楽学部の一般選抜は、分離・分割方式の前期日程により行う。

2段階選抜や帰国子女等のための特別選抜及び定員保留第2次募集は行わない。

ただし、一般選抜の入学手続き後、欠員補充第2次募集を行うことがある。

(2) 合否判定基準

大学入学共通テストの得点と本学が実施する個別テスト等の得点を合計して総合得点とし、専攻・コース内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。

(3) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点等は、下記及び7ページの別表による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象とする。また、本学では、大学入試共通テストの過年度成績は利用しない。

教科	出題科目	選択方法
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (英語はリスニングテストを含む)	必須 左記から1科目を選択
国語	『国語』	必須
地理歴史・公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	必須 左記から1科目を選択
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報Ⅰ』	

※1 『地理歴史・公民』及び『理科』の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象とする。

※2 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答。

※3 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答。

(備考) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

(4) 個別テスト等

ア 音楽学部 音楽学科 音楽表現専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子『令和9年度音楽学部試験曲』
【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。
【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

イ 音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子『令和9年度音楽学部試験曲』
【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。
【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

ウ 音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子『令和9年度音楽学部試験曲』
【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。
【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

別表

令和9年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等（音楽学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔 令和 8 年度志願倍率 〕			学力検査等 の 区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等 注 1			大学入学共通テスト・教科科目に係る個別テスト等の配点等														
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2 段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 注 2	公民	数学	理科 注 3	情報	外国語 *英(R:L)	専攻試験	音楽に關 する基礎 能力検査	面接		プレゼンテー ション	配点合計	
音楽学部 (2.7) 40人 前期 10 推薦 12 総合 18	音楽学科	音楽表現 専攻 総合 7	総合型選抜 9/26～ 9/27		免除	その他	〔声楽コース〕 実技検査、プレゼンテーション、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、プレゼンテーション、面接 〔弦楽コース〕 実技検査、プレゼンテーション、面接 〔管打楽コース〕 実技検査、プレゼンテーション、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、プレゼンテーション、面接		個別テスト等								700		200	100	1000		
		音楽文化 専攻 総合 5				その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、プレゼンテーション、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、プレゼンテーション、面接		個別テスト等								500		200	300	1000		
		琉球芸能 専攻 総合 6				その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、プレゼンテーション、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、プレゼンテーション、面接		個別テスト等								700		150	150	1000		
		音楽表現 専攻 推薦10 (県内 4・ 全国 6)	学校推薦型 選抜 11/21～ 11/22		免除	その他	〔声楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、面接 〔弦楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接 〔管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技試験、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		個別テスト等								650	250	100		1000		
		音楽文化 専攻 推薦 若干名				その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、音楽又は舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		個別テスト等								600	200	200		1000		
		琉球芸能 専攻 推薦 2 (県内 1・ 全国 1)				その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、楽典、面接		個別テスト等								700	200	100		1000		
		音楽表現 専攻 前期 6	一般選抜 前期 2/25～ 2/26	国語 地理・ 公民 数学 理科 情報	国語 を必ず受験 から1 注 2 注 3	その他	〔声楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、面接 〔弦楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接 〔管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		大学入学共通テスト	100	* 100	* 100	* 100	* 100	* 100	100 (50 : 50)					300		
						個別テスト等							500	150	50		700						
						計	100	* 100	* 100	* 100	* 100	* 100	100 (50 : 50)	500	150	50		1000					
		音楽文化 専攻 前期 2	一般選抜 前期 2/25～ 2/26	外国語	英、独、仏、中、韓から 1 を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔3教科3科目〕	その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、音楽又は舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		大学入学共通テスト	100	* 100	* 100	* 100	* 100	* 100	100 (50 : 50)					300		
						個別テスト等							500	150	50		700						
						計	100	* 100	* 100	* 100	* 100	* 100	100 (50 : 50)	500	150	50		1000					
		琉球芸能 専攻 前期 2	一般選抜 前期 2/25～ 2/26	社会人 2/27	免除	その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、面接		個別テスト等								900		100		1000		
						※音楽表現専攻および音楽文化専攻の一般選抜前期と同じ	その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、楽典、面接		大学入学共通テスト	100	* 100	* 100	* 100	* 100	* 100	100 (50 : 50)					300	
						個別テスト等							500	150	50		700						
		計	100	* 100	* 100	* 100	* 100	* 100	100 (50 : 50)	500	150	50		1000									
		社会人 2/25～ 2/26	免除		その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接		個別テスト等								600	350 注 4	50		1000			

(注1) 以下「個別テスト等」という。
(注2) 「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合、3つの出題範囲のうちいずれか2つを選択回答。
(注3) 「理科」の「物理基礎／科学基礎／生物基礎／地学基礎」を選択する場合、4つの出題範囲のうちいずれか2つを選択回答。
(注4) 琉球芸能専攻の社会人選抜では、小論文及び口述試験とする。
【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
(1)各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試共通テストの過年度成績は利用しない。
(2) 英語については、リーディング (R) とリスニング (L) の配点を (R:L) と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。
【大学入学共通テストの配点等】欄
(1)配点に*印を付してある教科は選択教科を表す。

3 個別テスト等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程）の個別テスト等に係る試験科目と試験実施方法は、次のとおりである。

(1) 試験科目

試験科目 専攻・コース		専攻試験			音楽に関する基礎能力検査				面接
		実技検査	小論文	口述試験	楽典 (注2)	聴音	副科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実技 (注3)	
音楽表現専攻	声楽コース	◎			◎	◎	◎		◎
	ピアノコース	◎			◎	◎			◎
	弦楽コース	◎			◎	◎	◎		◎
	管打楽コース	◎			◎	◎	◎		◎
	作曲理論コース	◎		◎	◎	◎	◎		◎
音楽文化専攻	沖縄文化コース		◎	◎	◎			◎	◎
	音楽学コース		◎	◎	◎	◎	◎		◎
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース	◎			◎				◎
	琉球舞踊組踊コース	◎			◎				◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

（声 楽）ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

（弦 楽）ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

（管打楽）フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器（A：小太鼓、B：マリンバ）

（琉球古典音楽）歌三線、琉球箏

注5：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注6：各専攻の実技検査の試験曲については、別冊子『令和9年度音楽学部試験曲』を参照すること。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望 第1志望		音楽表現専攻					音楽文化専攻		琉球芸能専攻	
		声楽 コース	ピアノ コース	弦楽 コース	管打楽 コース	作曲理論 コース	沖縄文化 コース	音楽学 コース	琉球古典 音楽コース	琉球舞踊 組踊コース
音楽表現専攻	声楽 コース					○	○	○		
	ピアノ コース	○				○	○	○		
	弦楽 コース					○	○	○		
	管打楽 コース					○	○	○		
	作曲理論 コース	○					○	○		
音楽文化専攻	沖縄文化 コース							○	○	○
	音楽学 コース	○					○			
琉球芸能専攻	琉球古典 音楽コース						○			○
	琉球舞踊 組踊コース						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ②音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。

(2) 試験日程等

専攻・ コース 月日	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典 音楽	琉球舞踊 組踊
令和9年 2月25日 (木)	・実技検査 ・副科 ピアノ	・実技検査	・実技検査 ・副科 ピアノ	・実技検査 ・副科 ピアノ	・実技検査 ・副科 ピアノ ・口述試験	・小論文 ・口述試験 ・音楽又は 舞踊の 実技	・小論文 ・口述試験 ・副科 ピアノ	・実技検査	・実技検査
2月26日 (金)	・聴音 ・楽典 ・面接	・聴音 ・楽典 ・面接	・聴音 ・楽典 ・面接	・聴音 ・楽典 ・面接	・聴音 ・楽典 ・面接	・楽典 ・面接	・聴音 ・楽典 ・面接	・楽典 ・面接	・楽典 ・面接

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子『令和9年度音楽学部試験曲』を参照すること。

4 出願手続

(1) 出願期間

令和9年1月25日（月）から2月3日（水）まで

ただし、2月3日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験の出願手続はオンライン出願で行う。本学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円

※オンライン出願ページの指示に従い、令和9年2月3日（水）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能。ただし、別途手数料がかかる。領収書の提出は不要。

イ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要がある、その手続までが出願手続となるので留意すること。

書類の提出は出願期間最終日までの消印があるものに限り受理する。

* 出願手続きについては本学ウェブサイト「オンライン出願ページ」の注意事項を参照すること。

オンライン出願ページ(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘要
①入学志願票	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。 現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様とする） イ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。 不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。 写真は入学後の学生証にも使用するため、学校の制服姿は推奨しない。 ウ 共通テストに関して、一般選抜ではWeb方式を採用しているため、オンライン出願ページで申請番号等の情報を入力すること。成績請求チケットの印刷・本学への送付は不要。 ※受験票は、大学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。
②調査書又は合格成績証明書	以下、ア、イのいずれかに該当する書類を提出すること。 ア 調査書 文部科学省所定の様式に従い、出身学校長が証明したもの（原本・開封無効）を提出すること。 * 指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の理由により出身学校長から調査書が得られない場合は、次の①又は②の書類を全て提出すること。 ①学校等の卒業者又は修了者 ・卒業証明書 ・成績証明書 ②バカロレア資格等の資格所有者 ・資格証明 ・成績証明 * 上記、成績証明書が発行できない場合は、それに代わる書類または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出すること。

	＊廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出すること。 ＊日本語以外の言語で作成されている場合は日本語訳を添付すること。 イ 合格成績証明書 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。
③旅券・在留カードの写し ※外国人のみ	外国人は、旅券の写し及び在留カード表裏両面の写しも提出すること。
④住民票抄本等 ※県内に住所を有する該当者のみ	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和8年4月1日以前から沖縄県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本（原本）を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本（原本）も提出すること。
⑤日本語能力を示す証明書 ※外国人のうち、出願資格の(3)に該当する者のみ	外国人のうち、出願資格の(3)に該当する者は、日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書（原本）を提出すること。
⑥学費・生活費の負担能力を証明する書類 ※外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ	外国人のうち、在留資格が「留学」の者は、1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。 ・本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本 ・海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本 ・本人以外の日本国内居住者が支弁する場合 経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本
⑦その他の書類	（音楽表現専攻声楽コース入学志願者） 以下のとおり自由曲の伴奏用楽譜を提出すること。 ア 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。 イ 提出楽譜は、表紙（A4判）を付けること。 ウ 提出楽譜は、表紙に曲目、調、氏名を明記すること。 ※提出楽譜は返却しない。 （音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者） 作曲又は編曲作品の楽譜を提出すること。 口述試験時に提出作品の控えを持参すること。 （音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者） 「音楽又は舞踊の実技」で舞踊を行う志願者は、実演で使用する伴奏音源（CD）を提出する（※）こと。 音楽実技を行う志願者は、演奏する楽譜のコピーを提出すること（楽譜のコピーは返却しない）。 （琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者） 課題曲・自由曲の地謡用音源（CD）を提出（※）すること。

（※）音源提出をする受験者（音楽文化専攻沖縄文化コース演舞希望者・琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）は、CD本体及びケースに受験するコースと氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。ただし、提出されたCDは返却しない。

(3) 出願先（実技作品等の提出先も同様）

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

- ア 本学の前期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。
- イ 入学志願者は、本学が課した大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。
- ウ 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める学校推薦型選抜辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。
- エ 本学前期日程試験に合格し令和9年3月15日（月）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学・学部の「公立大学中期日程（旧C日程）」試験及び本学を含む「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。
- オ 出願後は、志望専攻（コース）の変更を認めない。
- カ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- キ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- ク 提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返還しない。
- ケ 声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から声種を1つ選択し、出願すること。
ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウOUNTERテノール、テノール、バリトン、バス
- コ 弦楽コース、管打楽コース入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
（弦楽器）ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
（管打楽器）フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器（A：小太鼓、B：マリンバ）
- サ 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。
- シ 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。
歌三線、琉球箏
- ス 音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のうち、「音楽又は舞踊の実技」で演奏を行う志願者は、使用楽器、曲名、作曲者名を、演奏を行う志願者は曲名を出願時に記入すること。ただし、即興演奏・即興ダンスなど特別な事情がある場合には事前に申し出ること。

(5) 障がい等を有する者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

- ア 申請期限 令和9年1月14日（木）
- イ 相談の方法 本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」（医師の診断書等を添付）を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。
※様式は本学ウェブサイト「入試案内」に掲載
(<https://www.okigei.ac.jp/examination/ex-index.html#accessibility>)
- ウ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080
- エ その他 上記ウェブサイトにて、受験上及び修学上の配慮に係る事例を掲載しているので、必要に応じて参照すること。

5 受験票

- (1) 受験票は、出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- (2) 令和9年2月9日（火）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6 受験上の注意

- (1) 試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
- (2) 試験に関する諸事項（日程、科目、集合時刻等）の連絡は、管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。
 - ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。
 - イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は、令和9年2月24日（水）の午後3時に掲示（掲載）する。
 - ウ 実技試験の演奏順等の掲示（掲載）に記載する番号は、本学の受験番号である。
 - エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。
- (3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。
- (4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。
- (5) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習を禁止する。
- (6) 試験で使用する楽器のうち、ピアノ、マリンバ以外は各自持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用してもよい。
- (7) 試験で使用する稽古着（長着）、小道具は各自持参すること。
- (8) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。
- (9) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
 - ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。
 - イ 筆記試験の際は、机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
 - ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (10) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (11) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (12) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (13) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。
- (14) 試験期間中は、受験者及び特別に許可を受けた者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。
- (15) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (16) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。

7 不正行為

- (1) 提出論文等及び試験中に以下の不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
 - ア 提出論文、作品等の全部又は一部を入学志願者本人以外の者に作成させた場合
 - イ 提出論文、作品等において、生成AIの出力結果が使用されていると判断された場合
 - ウ 入学志願者本人以外の者（生成AIの利用を含む。）による試験解答への関与
 - エ 監督者の指示に従わない場合
 - オ 本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
 - カ 試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にした場合。
 - キ その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1)と同様とする。

ア 許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。

イ オンライン（リアルタイム）型試験において、関係のないパソコン、スマートフォン、タブレット等の操作をすること。

ウ オンライン（リアルタイム）型試験において、「①辞書や参考書を見るために目線（視線）が頻繁に動く」「②意図的に通信を切断する」等、不正が疑われる行為・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合

エ 「６ 受験上の注意」に記載されている電子機器類の使用に関する注意事項に反する行為

8 入学志願者状況案内

本学への志願状況について、以下の期間に本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）へ掲載する。

令和９年１月29日（金）10:00～２月12日（金）17:00

9 合格者の発表

(1) 合格者の発表

以下の日時に受験番号を本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

令和９年３月５日（金）10:00

(2) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、３月28日（日）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、３月28日（日）から３月31日（水）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

10 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、次の期日までに必着とする。

令和９年３月８日（月）～３月15日（月）午後５時まで（必着）

（注意）消印が３月15日以前であっても、３月15日午後５時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）

イ 高等学校卒業証明書

ウ その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

ア 入学料 ・ 県内居住者 282,000円

・ 県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は１親等の親族のある者

イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。

※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、「学生生活」（29ページ）を参照。

(4) 入学料の減免について

原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(5) 手続書類送付先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(6) 留意事項

ア 令和9年3月15日（月）（前期日程）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。

なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。

イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

11 入試成績の情報提供

個人情報保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を行うことができる。詳細は、「令和9年度入学者選抜要項」を参照すること。

第4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、別途本学ウェブサイトに掲載している『令和9年度学校推薦型選抜学生募集要項』による。

第5 総合型選抜

総合型選抜は、別途本学ウェブサイトに掲載している『令和9年度総合型選抜学生募集要項』による。

第6 社会人選抜

1 出願資格

次の(1)から(7)のいずれかに該当し、令和9年4月1日現在社会人（就職・就学の有無は問わない）として4年以上経過し、かつ22歳に達している者

なお、外国人志願者は(8)を満たすこと。また、外国人志願者のうち、出願資格の(3)に該当する者は(9)も満たすこと。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者

- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (9) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点相当）以上）

2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、志願理由書、履歴書等の出願書類及び実技、小論文、口述試験、面接の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(1) 試験科目

試験科目 専攻・コース		専攻試験			面接
		実技検査	小論文	口述試験	
音楽文化専攻	沖縄文化コース		◎	◎	◎
	音楽学コース		◎	◎	◎
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース	◎	◎	◎	◎
	琉球舞踊組踊コース	◎	◎	◎	◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示している。

注2：琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コースのいずれかを第1志望とし、他を第2志望として出願することができる。

注3：琉球古典音楽コースを第1志望とし、琉球舞踊組踊コースを第2志望に出願する者は、琉球古典音楽コースの試験科目のほかに、琉球舞踊組踊コースの専攻試験（実技検査）を受験すること。

注4：琉球舞踊組踊コースを第1志望とし、琉球古典音楽コースを第2志望に出願する者は、琉球舞踊組踊コースの試験科目のほかに、琉球古典音楽コースの専攻試験（実技検査）を受験すること。

注5：沖縄文化コースと音楽学コースを併願することはできない。

(2) 試験日程

月日	専攻・コース	音楽文化専攻	琉球芸能専攻	
		沖縄文化コース 音楽学コース	琉球古典音楽コース	琉球舞踊組踊コース
令和9年 2月25日（木）			・実技検査 （調弦・課題曲・自由曲） ・小論文	・実技検査（課題曲・自由曲・ 初見演技・初見視唱） ・小論文
2月26日（金）			・口述試験 ・面接	・口述試験 ・面接
2月27日（土）		・小論文 ・口述試験 ・面接		

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子『令和9年度音楽学部試験曲』に記載されている。

3 出願手続

(1) 出願期間

令和9年1月25日（月）から2月3日（水）までとする。ただし、2月3日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験の出願手続はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円

※オンライン出願ページの指示に従い、令和9年2月3日（水）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能。ただし、別途手数料がかかる。領収書の提出は不要。

イ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要がある、その手続までが出願手続となるので留意すること。

書類の提出は出願期間最終日までの消印があるものに限り受理する。

* 出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照すること。

オンライン出願ページ(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘 要
①入学志願票	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。 現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様とする） イ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。 不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。 写真は入学後の学生証にも使用する。 ※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。

②最終学校の卒業証明書等	高等学校以上の最終学歴を証明する卒業証明書か高等学校卒業程度認定試験合格証明書（大学入学資格検定合格証明書含む）、又はその他15ページの出願資格を証明する書類等を提出すること。
③志願理由書	本学所定の用紙を使用して、本人自身が記入のうえ提出すること。
④旅券・在留カードの写し ※外国人のみ	外国人は、旅券の写し及び在留カードを表裏両面の写しも提出すること。
⑤住民票抄本等 ※県内に住所を有する該当者のみ	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和8年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本（原本）を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本（原本）も提出すること。
⑥日本語能力を示す証明書 ※外国人のうち、出願資格の(3)に該当する者のみ	外国人のうち、出願資格の(3)に該当する者は、日本語能力試験（J L P T）で日本語教育の参照枠（C E F R レベル）のB 2（N 2 の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書（原本）を提出すること。
⑥学費・生活費の負担能力を証明する書類 ※外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ	外国人のうち、在留資格が「留学」の者は、1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。 ・本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本 ・海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本 ・本人以外の日本国内居住者が支弁する場合 経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本
⑦その他	琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の地謡用音源（C D）（※）を提出すること。

（※）音源提出をする受験者（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）は、C D 本体及びケースに受験するコースと氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。ただし、提出されたC D は返却しない。

(3) 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

- ア 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- イ 出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は一切認めない。
- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ 提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返還しない。
- オ 琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し出願すること。
- 歌三線、琉球箏

(5) 障がい有する者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

ア 申請期限 令和9年1月14日（木）

イ 相談の方法 本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」（医師の診断書等を添付）を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。

※様式は本学ウェブサイト「入試案内」に掲載

(<https://www.okigei.ac.jp/examination/ex-index.html#accessibility>)

ウ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

電話番号 (098) 882-5080

エ その他 上記ウェブサイトにて、受験上及び修学上の配慮に係る事例を掲載しているので、必要に応じて参照すること。

4 受験票

(1) 受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に持参すること。

(2) 令和9年2月9日（火）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

5 受験上の注意

(1) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯すること。

(2) 試験に関する諸事項（日程、科目、集合時刻等）の連絡は、管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。

イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は令和9年2月24日（水）の午後3時に掲示（掲載）する。

ウ 実技試験の演奏順等の掲示（掲載）に記載する番号は、本学の受験番号である。

エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。

(3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。

(4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。

(5) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習を禁止する。

(6) 実技試験で使用する楽器のうち、三線は各自持参すること。箏は本学で用意するが、本人持参でもよい。また琉球舞踊組踊コースの実技試験には、稽古着（長着）、小道具は各自持参すること。

(7) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

(8) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。

ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。

イ 筆記試験の際は、机の上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。

ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。

(9) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

(10) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。

(11) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。

(12) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。

(13) 試験期間中は、受験者及び特別に許可を受けた者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。

(14) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。

(15) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。

6 不正行為

一般選抜と同様の取り扱いとする（第3の「7 不正行為」（13ページ）参照）。

7 入学志願者状況案内

本学への志願状況について、以下の期間に本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）へ掲載する。

令和9年1月29日（金）10:00～2月12日（金）17:00

8 合格者の発表

(1) 合格者の発表

以下の日時に受験番号を本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

令和9年3月5日（金）10:00

(2) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日（日）以降に「追加合格者の決定」を行い本人に直接連絡（電話等）するので、3月28日（日）から3月31日（水）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

9 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、次の期日までに必着とする。

令和9年3月8日（月）～3月15日（月）午後5時まで（必着）

（注意）消印が3月15日以前であっても、3月15日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）

イ 高等学校卒業証明書ウ その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

ア 入学料 ・ 県内居住者 282,000円

・ 県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。

※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、「学生生活」（29ページ）を参照。

(4) 入学料の減免について

一般選抜と同様に取り扱う。（第3の10の「(4) 入学料の減免について」（15ページ）参照）

(5) 手続書類送付先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(6) 留意事項

ア 令和9年3月15日（月）（前期日程）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。

なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。

イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

10 その他

社会人選抜の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

第7 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳に達している者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (5) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上相当）

（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和9年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

- (1) 2026年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績
- (2) 一般志願者との個別テスト等を課した成績
- (3) 出願書類等

3 個別テスト等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程）と同様に実施する（第3の「3 個別テスト等の試験科目と日程」（8ページ）参照）。ただし、大学入学共通テストは免除する。

4 出願手続

(1) 出願期間

令和9年1月25日（月）から2月3日（水）までとする。（日本時間、以下同様）

日本国内から郵送するものは「書留郵便で速達」とし、2月3日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験の出願手続はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円

※オンライン出願ページの指示に従い、令和9年2月3日（水）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能。ただし、別途手数料がかかる。領収書の提出は不要。

イ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送する必要があり、その手続までが出願手続となるので留意すること。

* 出願手続については「オンライン出願ページ」の注意事項を参照すること。

オンライン出願ページ(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘要
①入学志願票	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 イ 「氏名（漢字）欄」は、入学志願者の旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。 ウ 住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を入力すること。 エ 「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。 オ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。 カ 「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。 キ 独立行政法人日本学生支援機構が実施した2026年度第1回又は第2回日本留学試験の受験番号を記入すること。 ク 「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。 ケ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。 写真は入学後の学生証にも使用する。 <u>※受験票は、大学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。</u>
②最終学校の卒業証明書及び成績証明書	日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。 なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。 日本語以外の証明書は日本語訳も提出すること。
③旅券・在留カードの写し	旅券及び在留カード表裏両面の写しを提出すること。
④住民票抄本等 ※県内に住所を有する該当者のみ	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和8年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本（原本）を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本（原本）も提出すること。
⑤日本語能力を示す証明書	日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書（原本）を提出すること。
⑥学費・生活費の負担能力を証明する書類 ※外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ	外国人のうち、在留資格が「留学」の者は、1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。 ・ 本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本 ・ 海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本 ・ 本人以外の日本国内居住者が支弁する場合 経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本

⑦その他の書類	(音楽表現専攻音楽コース入学志願者) 以下のとおり自由曲の伴奏用楽譜を提出すること。 ア 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。 イ 提出楽譜は、表紙(A4判)を付けること。 ウ 提出楽譜は、表紙に曲目、調、氏名を明記すること。 ※提出楽譜は返却しない。
	(音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者) 作曲又は編曲作品の楽譜を提出すること。 口述試験時に提出作品の控えを持参すること。
	(音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者) 「音楽又は舞踊の実技」で舞踊を行う志願者は、実演で使用する伴奏音源(CD)を提出する(※)こと。 音楽実技を行う志願者は、演奏する楽譜のコピーを提出すること(楽譜のコピーは返却しない)。
	(琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者) 課題曲・自由曲の地謡用音源(CD)を提出(※)すること。

※音源提出をする受験者(音楽文化専攻沖縄文化コース演舞希望者・琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース)は、CD本体及びケースに受験するコースと氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。ただし、提出されたCDは返却しない。

(3) 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080(直通)

(4) 出願上の注意

- ア 出願後は、志願学科・専攻の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ 提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返還しない。

(5) 障がい等を有する者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

ア 申請期限 令和9年1月14日(木)

イ 相談の方法 本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」(医師の診断書等を添付)を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。

※様式は本学ウェブサイト「入試案内」に掲載

(<https://www.okigei.ac.jp/examination/ex-index.html#accessibility>)

ウ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

エ その他 上記ウェブサイトにて、受験上及び修学上の配慮に係る事例を掲載しているので、必要に応じて参照すること。

5 受験票

- (1) 受験票は、出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- (2) 令和9年2月9日(火)までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6 受験上の注意

試験当日は、「本学受験票」と「旅券（パスポート）」の両方を必ず携帯すること。
その他事項については、一般選抜と同様の取り扱いとする（第3の「6 受験上の注意」（13ページ）参照）。

7 不正行為

一般選抜と同様の取り扱いとする（第3の「7 不正行為」（13ページ）参照）。

8 入学志願者状況案内

本学への志願状況について、以下の期間に本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）へ掲載する。

令和9年1月29日（金）10:00～2月12日（金）17:00

9 合格者の発表

(1) 合格者の発表

以下の日時に本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

令和9年3月5日（金）10:00

(2) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日（日）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、3月28日（日）から3月31日（水）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

10 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、次の期日までに必着とする。

令和9年3月8日（月）～3月15日（月）午後5時まで（必着）

（注意）消印が3月15日以前であっても、3月15日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）
- イ 在留資格情報のある住民票の写し（または住民票記載事項証明書）
- ウ その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

- ア 入学料
 - ・ 県内居住者 282,000円
 - ・ 県内居住者以外の者 512,000円
 - ※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、「学生生活」（29ページ）を参照。

(4) 入学料の減免について

一般選抜と同様に取り扱う。(第3の10の「(4) 入学料の減免について」(15ページ)参照)

(5) 手続書類送付先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080(直通)

(6) 留意事項

ア 令和9年3月15日(月)(前期日程)までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。

なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届(本学指定様式)を提出すること。

イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

11 その他

私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

建学の理念

- (1) 日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容をもつものである。わけても沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、日本文化としてはもちろんのこと、沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材の育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。
- (2) 県立芸術大学を建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求することにあるが、そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。
- (3) 我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がりを追求し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

沖縄県立芸術大学の概要

1 設置目的

沖縄県立芸術大学は、広く教養を養い、深く専門芸術の技術、理論及び歴史を教授研究して、人間性と芸術的創造力及び応用力を育成し、もって伝統芸術文化と世界の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。

2 設置者 沖縄県

3 設置場所

首里当蔵キャンパス	〒903-8602 那覇市首里当蔵町1丁目4番地 本部 美術工芸学部（絵画専攻、芸術学専攻） 音楽学部（全専攻） 附属図書・芸術資料館 奏楽堂 体育館
首里崎山キャンパス	〒903-0814 那覇市首里崎山町4丁目212番1 美術工芸学部（彫刻専攻、デザイン専攻、工芸専攻）
首里金城キャンパス	〒903-0815 那覇市首里金城町3丁目6番地 芸術文化研究所

4 修業年限及び学位

- (1) 修業年限 4年
- (2) 学 位 学士（芸術）

5 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（美術又は音楽）と高等学校教諭1種免許状（美術、工芸又は音楽）を取得することができる。

ただし、こども性暴力防止法に基づく特定性犯罪前科の事実確認において犯罪前科が認められた場合、教育実習を実施することができず、教員免許を取得することができない。

6 学芸員資格

博物館学課程所定の単位を取得すれば、学芸員の資格を取得することができる。

7 収容定員

学 部	学 科	専 攻	収容定員	
			入学定員	総定員
美術工芸学部	美 術 学 科	絵 画 専 攻	10	40
		彫 刻 専 攻	5	20
		芸 術 学 専 攻	6	24
	デザイン工芸学科	デ ザ イ ン 専 攻	20	80
		工 芸 専 攻	24	96
	小 計		65	260
音 楽 学 部	音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	23	92
		音 楽 文 化 専 攻	7	28
		琉 球 芸 能 専 攻	10	40
	小 計		40	160
	合 計		105	420

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- (2) 授業料 年額 535,800円（内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）

納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

- (3) 入学料及び授業料の減免

原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

- (4) その他

上記(3)によらず特別の事情により入学料や授業料の納入が困難な場合は、事務局に相談すること。

2 授業料以外に必要な経費

- (1) 実習経費

琉球芸能専攻では次の経費が必要となる。

- ①琉球古典音楽コース 約90,000円（黒朝・ハチマキ・長着稽古着代）
- ②琉球舞踊組踊コース 約16,000円（長着稽古着代）

- (2) 学外研究費

琉球芸能専攻では、3・4年次に予定している選択科目の経費として、実施年次に約180,000円が必要となる。

音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設で研修する場合は、実施年次に80,000円～120,000円程度が必要となります。

- (3) 音楽事業演習費（音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コース）

音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等で研修する場合は、実施年次に80,000円～120,000円程度が必要となる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
- (4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険及び学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③①②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （4年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

5 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入された氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ①入学試験の実施
- ②可否通知、入学手続き書類の送付
- ③入試成績の情報提供
- ④学生の福利厚生に資する情報の提供
- ⑤学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
- ⑥大学の施設・設備の仕様に関する管理、連絡および手続き
- ⑦本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑧個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を出身高校にお知らせすることがある。その際は本学と出身高校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

(2) 個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

- ①利用者の事前の承諾を得た場合
- ②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③法令の定めにより提供を求められた場合

(3) 情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から自己情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

6 その他

本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。

入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（又はタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。

出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験）】

※受験番号	
-------	--

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	一般選抜（前期日程試験）出願書類	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。）	☐
2	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの。出身高等学校より調査書が得られない者は以下の書類を提出する）	☐
	卒業証明書及び成績証明書 （成績証明書が発行出来ない場合はその旨が記載された文書を提出する。また、日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	☐
3	合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む））	☐
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出	☐ （該当者のみ）
5	旅券及び在留カード表裏両面の写し （外国人のみ）	☐ （該当者のみ）
6	日本語能力を示す証明書（外国人で、出願資格の(3)に該当する者のみ） ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFR レベル）の B2（N2 の 112 点）以上に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書	☐ （該当者のみ）
7	学費・生活費の負担能力を証明する書類 （外国人で、在留資格が「留学」の者のみ）	☐ （該当者のみ）
8	伴奏用楽譜（音楽表現専攻声楽コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）
9	作曲又は編曲作品（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）
10	音楽又は舞踊の実技の舞踊用伴奏CD（舞踊希望者）または演奏用楽譜（音楽実技希望者）（音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のみ）（返却しない）	☐ （該当者のみ）
11	課題曲・自由曲の地謡用音源（CD） （琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）

注1：この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

注2：受験番号欄（※）は記入しないこと。

出願書類等一覧表【社会人選抜】

※受験番号	
-------	--

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	社会人選抜出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。）	☐
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書	☐
3	志願理由書	☐
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出	☐ （該当者のみ）
5	旅券及び在留カード表裏両面の写し （外国人のみ）	☐ （該当者のみ）
6	日本語能力を示す証明書（外国人で、出願資格の(3)に該当する者のみ） ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFR レベル）の B2（N2 の 112 点）以上に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及び 成績に関する証明書	☐ （該当者のみ）
7	学費・生活費の負担能力を証明する書類 （外国人で、在留資格が「留学」の者のみ）	☐ （該当者のみ）
8	課題曲・自由曲の地謡用音源（CD） （琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）

注1：この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

注2：受験番号欄（※）は記入しないこと。

出願書類等一覧表【私費外国人留学生選抜】

※受験番号	
-------	--

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	私費外国人留学生選抜出願書類	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。旅券等の写しに記載される公式の郵便番号・住所を記載する。）	☐
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等 （日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	☐
3	旅券及び在留カード表裏両面の写し	☐
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出	☐ （該当者のみ）
5	日本語能力を示す証明書 ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFR レベル）の B2（N2 の 112 点）以上に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書	☐
6	学費・生活費の負担能力を証明する書類 （在留資格が「留学」の者のみ）	☐ （該当者のみ）
7	（音楽表現専攻声楽コース入学志願者のみ） 伴奏用楽譜	☐ （該当者のみ）
8	（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ） 作曲又は編曲作品	☐ （該当者のみ）
9	（音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のみ） 音楽又は舞踊の実技の舞踊用伴奏CD（舞踊希望者） または演奏用楽譜（音楽実技希望者）（返却しない）	☐ （該当者のみ）
10	課題曲・自由曲の地謡用音源（CD） （琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）

注1：この封筒は1人分のみとし、2人分以上を封入しないこと。

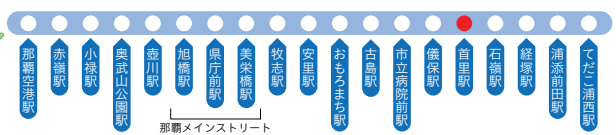
注2：受験番号欄（※）は記入しないこと。

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置 Location of the Okinawa Prefectural University of Arts



モノレール駅名称



沖縄県立芸術大学周辺略図



【交通案内】首里当蔵キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約10分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅より徒歩約10分
- バス利用の場合
「当蔵」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [1] 首里牧志線 [7][8] 首里城下町線
[14] 牧志開南循環線 [17] 石嶺(開南)線
[346] 那覇西原線(鳥堀経由)

【交通案内】首里金城キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約10分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、
首里駅からタクシー利用で約8分
- バス利用の場合
「芸大第3キャンパス前」
バス停下車、徒歩1分
系統番号 [7][8] 首里城下町線

【交通案内】首里崎山キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約3分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅からタクシー利用で約6分
- バス利用の場合
○「芸大崎山キャンパス前」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [15] 寒川線
○「那覇インター前」バス停下車、徒歩5分
系統番号 [1] 首里牧志線 [14] 牧志開南循環線 [15] 寒川線 [16] 新川石嶺線
[18] 首里駅線(一周線) [19] 首里駅循環線 [111] [117] 高速バス
[113] 具志川空港線 [123] 石川空港線
[127] 慶名名高速線 [152] ライカム高速線
[191] [391] 城間線(一日橋経由)

首里金城キャンパス

首里崎山キャンパス

